

講習の名称	【選択】国語教材の研究
講習の概要	国語科教材として用いられる現代文、古文、漢文それぞれの領域について、例となる題材を用いながら、解釈とそれに関わる事項を講述する。受講者による演習形式を用いる時間もある。最終日の筆記試験によって成績認定を行う。
担当講師	福山 泰男（人文社会科学部担当教授） 中澤 信幸（人文社会科学部担当教授） 森岡 卓司（人文社会科学部担当准教授）
講習開設日	平成 30 年 8 月 1 日～ 平成 30 年 8 月 3 日
開設時間	<b>8:50～16:10</b> (3 日間)
開催地	山形県山形市
会場・教室	人文社会科学部 1 号館 208
対象職種	教諭
主な受講対象者	中学校教諭（国語）、高等学校教諭（国語）
受講予定人数	11 人
受講者への連絡事項 (持ち物等)	筆記用具
評価基準	合格基準 ①全時間の 3 分の 2 以上の出席 ②筆記試験における 60 点以上の得点
評価の観点	講習内容を理解し、それを記述できているか。
その他特記事項	